

## 第 33 回総会・学術集会の報告（速報版）

日本染色体遺伝子検査学会 事務局長  
香川県立保健医療大学  
上野 一郎

10月10日（土）～11日（日）かがわ国際会議場（高松市）にて本学会の総会および学術集会が開催されました。学術集会は、初企画の「第1回 JACGA 遺伝子・染色体研修会」にはじまり、教育講演、招待講演、3題の特別講演、2つのワークショップ、標準化をテーマとした指定演題、19題の一般演題、2題のランチョンセミナーと、息つく間もない多彩なプログラムが際立っていました。会場は述べ200名を超える参加者の熱気にあふれ、と盛大な大会となりました。総会の報告は、次号の学会誌に掲載予定ですが、発行までに時間がかかりますので速報版としてお送りします。

### 平成28年度染色体遺伝子検査学会総会（速報）

日 時：平成27年10月11日（日）14:00～14:25  
会 場：かがわ国際会議場  
議 長：大星 航（香川県立保健医療大学）  
記 録：安 久美子（東北大学医学部附属病院）  
議事録署名人：清水 雅代（倉敷中央病院）

#### 議事

- 議案1. 平成27年度事業報告（案）について
- 議案2. 平成27年度一般会計決算（案）及び会計監査報告について
- 議案3. 平成28年度事業計画（案）について
- 議案4. 平成28年度一般会計予算（案）について

#### 報告

##### 1. 事務局体制の変更について

事務局長の退職にともない、事務局を引き続き香川県立保健医療大学におくため、新たに理事長指名で大星航（香川県立保健医療大学）を理事（事務局）に指名した。

##### 2. 次期開催地について

第34回総会・学術集会は静岡赤十字病院で今井昇大会長のもと、11月19日に1日の予定で開催する。

議事の審議は、質問や意見もなくすべて承認された。

## 【議案 1】

## 平成 27 年度事業報告

## 1. 第 32 回日本染色体遺伝子検査学会学術集会の開催

第 32 回日本染色体遺伝子検査学会学術集会を 2014 年 11 月 29 日（土）に愛知県がんセンター中央病院国際交流センターにて開催し、125 名の参加のもと、大会長講演、特別講演 2 題、一般演題 15 題の発表があり成功裏に終了した。

## 2. 第 32 回日本染色体遺伝子検査学会定例総会の開催

学術集会初日の 11 月 29 日（土）9 時 30 分より日本染色体遺伝子検査学会定例総会を学術集会会場で開催し、平成 26 年度事業報告及び決算、平成 27 年度事業計画及び予算案が承認された。

## 3. 第 8 回認定臨床染色体遺伝子検査師試験の実施

2014 年 11 月 30 日（日）に社団法人日本臨床衛生検査技師会と合同で第 8 回認定臨床染色体遺伝子検査士の試験が実施され、14 名の受験者のうち 8 名が合格した。当学会の合格者は 4 名（染色体検査分野 2 名、遺伝子検査分野 2 名）であり、合格した 8 名には認定証を発行した。また、更新期間を迎えた 33 名のうち 21 名（染色体検査分野 18 名、遺伝子検査分野 3 名）が更新手続を完了した。

## 4. 日本染色体遺伝子検査学会誌の発行

第 32 巻 2 号を 2014 年 10 月に、第 33 巻 1 号を 2015 年 5 月にそれぞれ 300 部ずつ発行し、会員、寄稿者、広告掲載会社に配布した。その他、国立国会図書館、医学中央雑誌、メディカルオンライン、独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) 知識基盤情報部にも発送した。

## 5. 会員の動向

本学会の会員数は、2015 年 9 月末現在で正会員 204 名（うち学生会員 4 名）、賛助会員 1 社、名誉会員 1 名である。新規会員 42 名を迎え、12 名の退会があった。特別顧問であった清水信義先生がご逝去された。新たに松野一彦前理事長を顧問として迎えた。

## 6. 学術活動

## 1) 支部活動

(1) 染色体遺伝子検査基礎技術セミナー（於：国立がん研究センター中央病院）

第 15 回セミナー：「FISH 検査のポイント」2014 年 10 月 4 日

第 16 回セミナー：「遺伝子検査を始めるために」、2015 年 4 月 25 日

第 17 回セミナー：「遺伝子検査に必要な知識・技術」、2015 年 6 月 20 日

第 18 回セミナー：「FISH 法の応用」、2015 年 9 月 5 日

全セミナーを通し平均 50 名の参加が得られた。

(2) 中四国臨床細胞遺伝学研究会（於：四国こどもとおとなの医療センター）

第31回研究会：染色体自動分析装置（Zeiss）を用いた核型分析の実習、一般演題5題、特別講演2題。2014年3月8日、35名参加。

(3) 近畿染色体遺伝子検査基礎技術セミナー（於：天理よろづ相談所病院）

第2回セミナー：「PCR法について知ろう」、2014年10月25日、講演3題、38名参加。

第3回セミナー：「染色体核型分析を経験しよう」2015年6月20日、講演1題と染色体核型分析の実習。18名参加。

2) フォトサーベイ事業

学会のホームページで第49回～第54回まで6回実施し、延べ83名からの回答があった。

3) 学会ニュースの発行

平成26年10月（9号）～平成27年9月（18号）まで10号発行した。あらかじめメールアドレスの届け出のある会員にメールで配布し、ホームページにも掲載した。

#### 7. 染色体・遺伝子検査関連団体との連携

9月26日（土）長浜バイオ大学が主催した「第2回 医療におけるゲノム解析担当者を育てるための実習を主とした講習会 2015」に実行委員および後援として参加した。また、日本臨床衛生検査技師会と連携し、認定臨床染色体遺伝子検査師の研修会及び試験を実施した。

#### 【議案2】

平成27年度一般会計決算

自 平成26年10月1日

至 平成27年9月30日

#### 《収入の部》

（単位は円）

項目	内訳	予算額	決算額	備考
会費等収入	会費	500,000	1,195,000	一般238名 学生
	賛助会費	30,000	30,000	1社
	入会金	20,000	42,000	42名
資産収入	文献検索	8,500	6,566	医中誌1,296、メテオ5,270
	雑誌広告料	20,000	20,000	1社
	利息等	300	380	
繰入金	学会返還金	0	431,983	第32回学術集会返金
収入小計		578,800	1,725,929	(A)

前年度繰越金	2,735,336	2,735,336	前年度繰越金
--------	-----------	-----------	--------

収入合計	3,314,136	4,461,265	(B)
------	-----------	-----------	-----

## 《支出の部》

(単位は円)

項目	内訳	予算額	決算額	備考
学会誌	印刷費	550,000	550,800	第33巻よりカラー写真学会負担
	送 料	50,000	47,719	予算は封筒印刷費で計上
事業費		50,000	157,950	ドメイン使用料、ホームページ作成
通信費		10,000	13,595	文書発送、振込手数料等
会議費		20,000	0	理事・実務委員日当 18名
消耗品費		10,000	0	
支部活動費		60,000	0	
学会準備金		300,000	300,000	第33回学術集会
支出小計		1,050,000	1,070,064	(C)

予備費	2,264,136	0	
-----	-----------	---	--

支出合計	3,314,136	1,070,064	(D)
------	-----------	-----------	-----

単年度収支：(A)－(C)＝655,865 累積収支残額＝(B)－(D)＝3,391,201 (平成28年度へ繰越)

平成27年10月11日

日本染色体遺伝子検査学会総会

日本染色体遺伝子検査学会 殿

### 会計監査報告

平成27年度日本染色体遺伝子検査学会事業報告及び一般会計決算書に基づいて会計帳簿、貯金通帳、関係書類をもとに監査した結果、会計処理が適正に運営・管理されていることを確認しましたのでここに報告します。

平成27年10月8日

監事 大棟 久美江



平成27年10月6日

監事 安 久美子



平成27年10月11日

日本染色体遺伝子検査学会総会

## 【議案 3】

## 平成28年度事業計画

1. 第33回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会の開催  
第33回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会を2015年10月10日（土）～10月11日（日）にかがわ国際会議場において伊藤道徳大会長（こどもとおとなの医療センター）のもとで開催する。
2. 第9回認定臨床染色体遺伝子検査師試験の実施  
2015年12月13日（日）に筆記試験及び実技試験を日本臨技会館（東京）で行う。申請期間は10月13日（月）～10月30日（金）。また、更新手続きが順調に行われるように援助する。
3. 日本染色体遺伝子検査学会誌の発行  
学会誌を学術抄録集として平成27年9月（学会開催日の都合で繰上げ）に、論文集として平成28年4月にそれぞれ300部発行し、会員のほか、国立国会図書館、医学中央雑誌、メディカルオンライン、独立行政法人科学技術振興機構（JST）知識基盤情報部などに送付する。
4. 会員及び会費収入の増加  
新規会員及び賛助会員を迎える活動を推進するとともに、会費納入率の向上を引き続き目指す。そのために広報活動を強化し、支部事業の活性化及び関連学会との連携などにより本学会の存在を臨床検査関連分野に広く周知する。
5. 学術活動
  - 1) 支部活動  
臨床検査における遺伝子関連検査の普及と質の向上をめざし、また、本学会の認知度の向上に向け、地域の臨床検査技師会と共同でセミナーを積極的に開催する。
  - 2) フォトサーベイ事業  
本学会の独自の取り組みなので、「染色体遺伝子検査の精度保証のための指針」を検証しながら積極的に進める。
  - 3) 学会ニュースの発行  
会員の貴重な情報手段として、外部からの投稿も含めさらなる充実を目指す。
6. 染色体・遺伝子検査関連団体との連携  
遺伝子検査技術の向上と普及のため、引き続き日本臨床衛生検査学会等の連携を深めていく。

## 【議案 4】

平成28年度一般会計予算

自 平成27年10月1日

至 平成28年9月30日

## 《収入の部》

(単位は円)

項目	内訳	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	備考
会費等収入	会費	500,000	1,195,000	850,000	170名
	賛助会費	30,000	30,000	30,000	3
	入会金	20,000	42,000	20,000	20名
資産収入	文献検索	8,500	6,566	6,000	
	雑誌広告	20,000	20,000	100,000	
	利息等	300	380	300	
繰入金	学会返還金	0	431,983	0	
収入小計		578,800	1,725,929	1,006,300	

前年度繰越金	2,735,336	2,735,336	3,391,201	
--------	-----------	-----------	-----------	--

収入合計	3,314,136	4,461,265	4,397,501	
------	-----------	-----------	-----------	--

## 《支出の部》

(単位は円)

項目	内訳	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	備考
印刷費	会誌印刷費	550,000	550,800	550,000	300部×2回
	会誌送料	50,000	47,719	50,000	
事業費		50,000	157,950	50,000	
通信費		10,000	13,595	10,000	振込手数料等
会議費		20,000	0	20,000	
消耗品費		10,000	0	10,000	
支部費		60,000	0	60,000	
学会準備金	第34回大会	300,000	300,000	300,000	
支出小計		1,050,000	1,070,064	1,050,000	

予備費		2,264,136	0	3,347,501	
-----	--	-----------	---	-----------	--

支出合計	3,314,136	1,070,064	4,397,501	
------	-----------	-----------	-----------	--

平成27年10月11日  
日本染色体遺伝子検査学会総会

## 第34回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会大略

名称：第34回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会

主催：日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会

大会長：今井 昇（静岡赤十字病院検査部 部長）

副大会長：大畑 雅彦（静岡赤十字病院検査部 技師長）

開催日：2016年11月19日（土）

会場：静岡赤十字病院

〒420-0853 静岡市葵区追手町 8-2 TEL03-5440-9020

テーマ：「診療に活かされる染色体遺伝子検査これからの展望」

・教育講演 2題

『分子細胞遺伝学の意義と臨床応用』

聖マリアンナ医科大学

三浦 偉久男 教授

『染色体・ゲノム検査の骨髄腫患者へ臨床展開』

名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学分野

飯田 真介 教授

・ランチョンセミナー

『 未定 』

名古屋第一赤十字病院・細胞診分子病理診断部・分子病理検査係長・細胞診検査係長

郡司 昌治 先生

・一般演題 10題（予定）

事務局：静岡赤十字病院 検査部

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 8-2

Tel：054-254-4311 (2314)

実行委員代表 大棟久美江 [oomune@bronze.ocn.ne.jp](mailto:oomune@bronze.ocn.ne.jp)

**平成28年度染色体遺伝子検査学会理事会・学術集会運営委員会合同会議  
(議事録)**

日 時：平成27年10月9日(金) 13:30~16:40

会 場：サンポートホール高松

出席者(敬称略)：奥山理事長、伊藤大会長、石黒、柿島、郡司、柴田、曾根、園山、福塚、長屋、大棟(次期開催予定)、川口(次期開催予定)、安、上野事務局長

1. 第33回総会・学術集会の運営について(実行委員長から)

曾根理事より進行の概要説明があり確認のうえ決定した。一般演題19題、ワークショップ2題(8席)、指定演題1題(4席)、教育講演1題、招待講演1題、特別講演3題、ランチョンセミナー2題であり、一般演題数をはじめ、過去最高の規模で行われた。

2. 平成27年度事業報告及び各委員会からの報告

総会議案を基に、事務局の説明の後、委員より発言を頂いた。

1) 第32回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会の開催

原案通り確認された。

2) 第8回認定臨床染色体遺伝子検査師試験の実施

- ・更新申請期間中に、更新の猶予措置があるので活用する。
  - ・本学会の開催に当たっては、受験・更新のポイントを案内に明記する。
  - ・人類遺伝学会の申請ポイントは、園山理事または事務局を通じて確認する。
  - ・組織病理部門をはじめ、カリキュラム、指定テキストの見直しを考慮してほしい。
- 以上の発言を加え、確認された。

3) 日本染色体遺伝子検査学会誌の発行

・原案通り確認された。

4) 会員の動向

・2014年度、2015年度にかけ、会員数が20名余り純増しており、臨床検査関係者の関心の高まりと臨床検査技師を主体とした学会として受け皿の役割を果たしている。

5) 学術活動

- ・支部活動が行われていない支部は、日本臨床衛生検査技師会等の支部活動と共催・後援をする等工夫して、本学学会の役割をピーアールする。
  - ・支部活動には3万円の補助を活用する。
- 以上の発言を加え、確認された。

6) 染色体・遺伝子検査関連団体との連携

- ・関連学会との連携を図り、本学会を広く宣伝していくことが大切である。
- 以上の発言を加え、確認された。



3. 平成 27 年度会計決算報告について
  - ・会員の増加により収入が増えた。
  - ・学会ホームページのレンタルサーバーの更新を忘れたため、ホームページが強制的に削除された。再度、ホームページ構築するために 10 万円余の費用を要した。
  - ・学会誌の配送にメール便が使用できなくなったため費用が増大した。
  - ・学会誌のカラー写真を学会負担としたため、印刷費が増大した。
  - ・学会抄録号の広告費は開催地で使用する。
  - ・賛助会員は年間 1 口 1 万円で、学会誌やホームページに載るので大いに広める。
  
4. 会計監査報告について  
問題ないことを確認した。
  
5. 平成 28 年度事業計画及び予算（案）について  
問題ないことを確認した。
  
6. 次期以降の総会・学術集会開催地について
  - ・第 34 回総会・学術集会は静岡赤十字病院で今井昇大会長のもと、平成 28 年 11 月 19 日に 1 日の予定で開催する。
  - ・第 35 回以降は、過去の開催から時間を経ている支部からお願いする。なお、開催に困難な場合は、事務局よりへ適切な援助をする。
  
7. 事務局体制の変更について
  - ・平成 27 年度をもって事務局長が退職するが、事務局を引き続き香川県立保健医療大学に置くために、香川県立保健医療大学の大星航（わたる）氏が理事長より新理事として指名された。
  
8. その他
  - ・診療報酬表に記載されている遺伝子関連検査について、どういう条件があれば申請できるのか教えて欲しいとの意見があり、学会でまとめることとした。